

太極拳 和

だより

No.409 '22.4.4

福田勝子

TEL. 092-513-9100

第十一回太極拳文化祭成功裡に終わる

第十一回太極拳文化祭は、講師に陳氏太極拳の十二世伝人・陳沛山老師を迎えて大野城市東コミセンタールで開催されました。

コロナパンデミックがまだまだ終息しない中、総勢七十一人が参集し、マスクをしたままの息苦しさをものともせず、各教室とも熱のこもつ



た演武を披露していただきました。

陳老師は講話で、太極拳の歴史をふりかえりながら、現状は、スポーツ競技としての太極拳と伝統太極拳の二つの道にわかれつつあると指摘され、国威発揚や営利化への傾向に警鐘を鳴らされました。

質問に応える中で、太極拳の「外形」と「内形」について詳述され、内形のない外形だけの運動は体操と変わらないため、いくら太極拳ら

しい動きをしても、決して太極拳とはいえない。「意」に従った「気」の運動、そして「内形」と「外形」が共存する運動が出来て、初めて太極拳の動きになる、と強調されました。講話に続く「指導」を通じて老師の言われる「内形」を少し実感できたような気がしました。そして、見事な演武を披露していただき、その力強さ、美しさに圧倒されました。最後の老師を囲んでの記念撮影には、参加者一人残らず参集し、感動を分かち合いました。前夜のリハーサルから手伝っていただいた、「大野東太極拳すこやかクラブ」のみなさん、司会の木村さん、写真撮影の毛屋さん、陳老師との仲介の労をとっていただいた日本中国友好協会理事長の松尾さんに感謝します。



東コニ教室



乙金教室



春日教室



早朝太極拳 1 組



早朝太極拳 2 組



大野南教室



那珂川教室

